



## オーストラリアの人事戦略で成功する為には

### その14

10年くらい前までは、シドニーに住んでいた者が日本に一時帰国すると、日本の車の立派さに驚いたものですが、最近では日本からシドニーに出張に来られると、ベンツやBMWの多さに驚かされるものです。この様な現象もここ3, 4年前から始まりました。4, 5年前にジョンハワード首相が全オーストラリア国民に持ち家を与えるというプロパガンダを掲げました。その政策の代償として、新しく住宅を購入する際に14,000ドルの無償住宅補助金が連邦政府から与えられました。当時、銀行は頭金10%を積み、90%をモーゲージ付きで融資してくれるため、算数的には14万ドルの住宅が、全く預金のない方でも購入できました。ちなみに当時のシドニーの平均住宅市場価格は15万ドルでした。この政策により、過去3, 4年で住宅の市場価格はシドニーに限らずオーストラリア全体で3,4倍に高騰しました。これがオーストラリアの不動産バブルを作り上げた原動力でありました。当然、不動産の高騰によりエクイティが増えたため、銀行はさらに融資をしたがり、年俸3万ドルでもBMWやベンツに乗れるようになりました。中には、さらに1,2軒投資物件に、銀行からの更なる融資を投下した方もおります。潰れる潰れるといわれているオーストラリアのバブル経済ですが、中国の資源ブームに乗ってまだ生き残っているようです。

日本でも15年くらい前にバブル経済がありましたが、オーストラリアと比較すると、大きな違いは、オーストラリア人の場合は全く貯金を持っていないということです。何故なら、オーストラリア人は貯金をしなくても生まれた時から貯金を持っているからです。つまり、オーストラリア人は地下資源という貯金を持って生まれて来るのです。我々日本人は一文無しで生まれてくる為、貯金をしないと本当に一生無一文で終わってしまいます。従い、多くの日本人はバブルが弾けても貯金があった為、多くの個人はさほど生活難には陥りませんでした。ところがオーストラリア人は貯金持たない為バブルが崩壊すれば多くの人が生活難に陥ることが予想されます。これは我々がオーストラリア人を雇用する際にどのような点に気をつければよろしいのでしょうか。日本人が一生懸命仕事をするのは、何も持たずに生まれて来るため、資産を形成する必要があります。オーストラリア人を日本人の目から見ると、オーストラリア人が仕事をしないと判断致しますのは、オーストラリア人は地下資源を持って生まれて来ますので、現金がなくても生活できる余裕があるからです。すなわち、以前の日本企業はサラリーマンを住宅ローン等の債務で縛り、雇用の安定を確保して来ましたが、オーストラリアではこれは不可能であります。つまり、債務でオーストラリア人社員を管理するのは日本人のように上手にはいかないということです。よって、会社側が住宅ローンの低金利を組む、又はその他のローン等の補助しても、オーストラリア人は現金がなくなり自己破産をしてしまっても、日本人のように厳しく受け止めない国民ですから、労働力を強化する材料にはなりません。